

高退協ニュース

2008・5・8

高知高退協
事務局

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目11-10
TEL 088-818-2211 688222
TEL 088-818-2211 1188933
郵便振替口座 016501211188933

08年 定期総会開く

高退協定期総会が、4月26日高知城ホールで、40余名の参加で開かれました。議長選出の後、10名の物故者に黙祷し、三谷会長の挨拶、3名の新加入者の紹介がありました。

続いて、高教組倉橋委員長が教育現場の現況とさらなる連帯を、香川高退協のメッセージを、原事務局長が読み上げ、議事に入りました。

皆さんの協力を

総会で私たち新年度の役員が決定しました。会員の皆さんの協力を宜しくお願いします。

今回退任された役員の方々は長い間ご苦勞様でした。特に浜田昌俊顧問は高退協創立以来主力原動力として活躍なさいました。また第一回研修旅行以来の日程、名簿、写真など記録を整備して寄付して下さいます。

今回も活発な論議が行われ、その中身を順次活動に織り込みますが、ここで二つ取り上げますと、その一は後期高齢者医療制度です。予想以上に怒りが激しく、関連団体とも連携して、後期高齢者医療制度の撤廃運動をさらに強めます。その二は会員同士連絡を密にします。活動計画に新しく「会員相互に電話

後期高齢者医療制度や、9条問題などに対し、わが組織は今まで良いのか、支部のようなものは出来ないか、この1年の課題にしたい。高退協の行事は、高知中心だが、日常的広がりが必要、安芸や幡多での行事も。1人暮らしの会員のリストを作り対応を。等々多くの意見が出されました。決算・予算も承認され役員を選出し閉会しました。



を掛け合いました。今年には勤評闘争五〇周年です。六月二八日に記念集会を開催します。単なる懐古ではなく、現代的意義を討議します。宴会はさばを読まなくても満席になりそうです。

会員の皆さん、高退協の活動へ参加をお願いします。生き生きとした一つに加えていただければ幸いです。

08年度役員体制

- | | |
|-------|--------|
| 会長 | 三谷隆彦 |
| 副会長 | 小澤幸次郎 |
| 事務局長 | 原淳 |
| 常任委員長 | 田所昌純 |
| | 渡辺正三 |
| | 梶原正三 |
| | 田村昌子 |
| | 井垣政利 |
| | 島本聡 |
| | 千葉繁之 |
| | 南千加良 |
| | 林応子 |
| | 胡麻崎ゆう子 |
| | 岡崎清恵 |
| | 和田明 |
| 監査委員 | 山脇正照 |
| 役員委員 | 鎌田伸一 |
| | 坂本敬子 |
| | 山脇正照 |
| | 中村正博 |
| | 土居和雄 |
| | 松山和雄 |
| | 濱田理佳 |
| | 土居康男 |

老声草

『嘘』と実

後期高齢者医療制度、四月一日、六万三千四百六十八人に保険証がない。スタート時のこの混乱は、この制度の『粗製乱造』の証となりました。

二月に県・市の広報、広域連合のチラシ。三月に国民健康保険中央会、政府広報の説明文書が各戸に配られたにもかかわらず。この有様。特に三月二十日付け新聞に折り込まれた政府広報三千六百万部。厚労省には、朝から電話で全国から質問と抗議が殺到。この反応にスタート時の混乱を予測できなかった政府の鈍感さ。一連の事前通知の共通した特徴は、医療の中枢にふれず保険料の説明が九〇%、これでスタートできるとふんでいたのだろう。

退職者を励まし 新加入を祝う会

盛大に開かれる
総会に続き、退職者を励まし新加入を祝う会が四階ホールにて、全体で百十三名の参加で盛大に開かれました。高退協からも四十八名が参加しました。

祝う会は、倉橋高教組委員長の挨拶、三谷高退協会長の乾杯の音頭で始まり、本年度退職の井垣、奥本、倉橋、胡麻崎、土居、西岡の各氏から思いのこもった挨拶がありました。また、六名の高教組新組合員の紹介とともに、三十九年間書記局に勤められた胡麻崎さんの後任となる上村理恵さんの紹介がありました。

医療の中枢の細部が分かったのは、二月一四日、厚労省が中央社会保険協議会に提示した『診療報酬改定』案。①診療報酬の対象を一〇項目から四項目にし、上限定額、月六千円。主治医は医療機関をしぼり、年間診療計画書をつくる。②長期患者ベッド数を一七万床削減、退院計画書をつくれれば千円の加算。③現在二割の『在宅死』を四割にして五千億円うかす。④終末期も「過剰医療」をしない確約をとると、相談支援料二千元・・・診療報酬の出し方をみれば、政府の意図は隠せない。この制度設計にかかわった、厚労省の土佐和男制度施行準備室長補佐は、「一番医療費がかかっている後期高齢者、ここを適正化する」特に終末期「家族の感情から発生した医療費」が医療費膨張の原因と本音を語る。

前期の政府広報の最後に「後期高齢者の生活を支えます。①継続的に診てくれる担当医 ②在宅も安心して、国民はもう騙されない。③看取り安心・・・と書いても、国民はもう騙されない。「療養病床削減・・・は、社会保障費削減の至上命令に従っただけの国民無視の法律。『後期高齢者医療制度』も厚労省官僚の劣化を感じさせる残酷な制度です」(高知新聞・08.2.29「警鐘」山本義孝さん)

一月この医療制度の「中止・撤回」を求める署名、私の部落で三三筆、隣の部落で四一筆も集まった。三月一五日、この制度を「吟味する会」をもち、三時間かけて話し合った。感想の第一声が「大本営発表で騙されたが、もう騙されんぞ」でした。(島本)

今、高教組は

倉橋楠雄

学校現場では、四月一日、全教職員への査定昇給制度が導入されました。○七年度一年間の「新しい人事評価制度」による評価と、校長が作成する「勤務状況報告書」に基づいて給与が支給されることになったのです。これは、昨年四月から学校長に対する査定昇給が始まりそれを受けて、「開示請求」や「苦情の申し立て」がなかったことを理由に、運用上問題がなかったとして、査定昇給制度の実施に踏み切ったものです。

これに伴いこれからの昇給は、勤務の評価に依り、五つの昇給区分により四月一日に昇給することになりました。

- 区分Ⅰ 八号昇給
- 区分Ⅱ 六号昇給
- 区分Ⅲ 四号昇給
- 区分Ⅳ 二号昇給
- 区分Ⅴ 昇給なし

※(以前の一号が四号に相当)

- I 勤務成績が極めて良好な職員
- II 勤務成績が特に良好である職員
- III 勤務成績が良好である職員
- IV 勤務成績がやや良好でない職員
- V 勤務成績が良好でない職員

この制度について、現場では独教も含めて、異論や凍結を求める声が出ていました。評価者である管理職も、疑問や戸惑いを感じながら、「制度がある以上仕方なく評価せざるを得ない」などと発言しています。(ある校長)これが実態なのです。管理職、特に校長は教育行政の一端を担うという面と、もう一つ、父母や子どもたちに責任を負う教育者という二つの側面を持っています。近年は後者の自覚を持った校長が増えてきています。私たちには、校長を敵視するばかりではなく、励ましながら「参加と共同」の学校づくりを追求しなくてはなりません。しかし、一方で、特に大規模校や職種の多い障害児学校では、評価者としての責任を薄めたいがために、中間管理職のような教職員の設置を望む校長もあり、「新しい職」の設置の動きにも注視しながら、学校組織のあり方についても提言していくことが必要となつてきています。

大崎前教育長は、任期最後となつた三月県議会で「職員会は校長の補助機関」「人事評価制度は『土佐の教育改革』の目玉」などと答弁し、自ら「土佐の教育改革」の理念をゆがめました。

教育長も代わり、教育委員にも元高校校長が加わつた新しい県教委と私たちは対峙しながら「参加と共同」の学校づくりに取り組むことが必要になつてきています。

私の健康法 下田俊子

元氣印で辞めた私ですが近頃は目眩、物忘れ、動悸など老化を感じ始めました。働いている時から便秘気味で、お茶を飲んだり果物を食べたり食べすぎたりすると今度は下痢をしたりでした。今、氣にいつているのは腹巻です。夏もしています。丁度寅さんのようです。(雪駄のような草履も愛用しています。)時間に縛られることも減つてこれになり快腸です。

又、太極拳と自立整体、ジャズダンスを組み合わせた体操を、着替える時、風呂上りなどでやつてコリをのばします。唯一校長に水着姿を誉められたことを思い出して、鶴のポーズ、亀のポーズを決めます。鏡に映して表現すると自分の芸術活動にもなります。三度の食事は時間どおり欠かさず、毎日RKCの三分クッキングをみて料理の腕を磨いています。

俳句

三月十五日 土曜

須崎市 桑田山

時に散り一山見頃寒桜

東道の勤め一日や寒桜

合田 青幹

地虫出で己が一分わきまへり

吉本 伸秋

杉山の温泉宿恐らし杉花粉

ベンチかな

中内 英明

空称へ花を称へて忌を修す

中内 みち代

せせらぎを上へ下へと囀れる
水菜畑ふさふさ風を渡しをり
小笠原 さちを

短歌

きさらぎのオリオン

榊原忠彦

三ツ星は薄くはあれどオリオン
と気づきてうれしきさらぎの夜

腰痛に悩む北杜夫五百数の昆虫
標本とテレビに出でし
(私も坐骨神経痛)

「じゃあねー」と人生去りし
コンダクター、石丸寛は羨しき
ろかも
(フرائمスに命を懸け末期がんと闘った指揮者の放映)

鎮魂

山本晶子

歌の師はこの世にいませず御骨

揚げして帰り来る冬空の下
(国見純生先生)

懸命にご主人の無事祈りいしに
届かざりしか花に埋もるる
(歌友のご主人)

「悪いことは何もしていない。
でも神は一人子を奪った。」両親
の言う



怒りの春

叶岡淑子

古い病みし夫に届きし「特別便」
勤評弾圧へ怒りも新た

記録漏れの是正かなわず逝きし
人・古い病む人らの声なき声よ

年齢で人のいのちを差別する
怒り満ち充つ列島の春



訂正

高退協機関誌「こうたいきょう」第28号の6ページ上段数式②に誤りがありました。お詫びして訂正します。

$$(誤) \frac{X^n - x^n}{X - x} = \frac{(X - x)(X^{n-1} + X^{n-2} \cdot x + \dots + Xx^{n-2} + x^{n-1})}{(X - x)}$$

$$(正) \frac{X^n - x^n}{X - x} = \frac{(X - x)(X^{n-1} + X^{n-2} \cdot x + \dots + Xx^{n-2} + x^{n-1})}{(X - x)}$$

活動日誌

【三月】

四日 事務局会
十八日 子連総会

【四月】

一日 高齢者医療制度中止撤回集会
九日 事務局会
十五日 四プロ代表者会

【五月】

一日 メーカー

相撲ニ二知識 (八十二)

林 勤

相撲協会八十年を振り返る

六、昭和四十一年〜四十五年

昭和四十一年

〇二月、大関栃光、六月大関

北葉山、十一月横綱栃ノ海

引退。

昭和四十二年

〇一月、大鵬二度目の六連覇

(四十一年三月場所〜本年一

月場所。

〇一月、千代の山の九重親方

は高砂一門へ

※出羽海部屋は分家独立を認

めない、「九重親方」となる

ため破門同様の形で、出羽海

部屋とは一門の異なる高砂一

門へ入る。

〇三月、高見山、外国人力士

として初の十両力士となる。

昭和四十三年

〇三月、花田(後の大関貴ノ

花)、当時史上最年少18歳で

新十両。

〇六月、横綱佐田ノ山、九月

大関豊山、引退。

〇十一月、時津風理事長(元横

綱双葉山)死去、56歳。

昭和四十四年

〇五月、勝負判定にビデオ採

用(三月場所二日目の大鵬一

戸田戦が微妙な勝負で、戸田

の勝ちとなったが、その判定

を巡って一大論争となり五月

場所からビデオを参考にする

ことが決定。

〇六月、大関は「三場所連続負

け越しで関脇に降下」から「七

月場所から二場所連続負け越

し」に改定。

〇七月、横綱柏戸引退。

※前回(昭和三十六年)四

十年の間に横綱、大関に昇進

し、柏嶋時代を彩った強豪力

士は次々に引退し、大鵬一人

となり、時代の移りを感じる。

〇九月、大鵬は去る五月場所

で三十回優勝。その偉業を称

え「二代年寄り大鵬」を授与さ

れる。

※一代年寄とは、引退後、力

士名のままで部屋持ちの親方

となれる制度(但しその本人

限りであるが)。現在では大鵬

のほかに北の湖、貴乃花がい

る。千代の富士も一代年寄りの

の推挙を受けたが「自分一代

限りよりも、ずっと続く親方

名の方が良い」と辞退した。

昭和四十五年

〇一月〜七月、一月に日大か

ら入門した輪島(昭和43、44

年の学生横綱)が一月、三月場

所に全勝、三月に東京農大か

ら入門した長浜が(後の二代

目豊山)五月、七月場所に全

勝。学生新入門力士が四場所

連続幕下全勝優勝。これから

続々と学生出身の入門力士が

誕生する。

〇三月、北の富士と玉乃島後

玉の海と改名が横綱に同時

昇進。北・玉時代、輪湖時代(輪

島、北の湖へと移って行く。

メキシコシティで

南 千加良

南米への途中立ち寄ったメキシコシティでは大規模な農民の集会があるというので急遽予定を変更、国立人類博物館を訪ねた。

博物館は多様な民族とその調和を讀める印象的な壁画から始まり、幾つかの民族が氷河に覆われたペーリング海峡を渡って、マヤ、アステカ文明を開花させた歴史が多彩な資料で語られており、多くの子供たちが見学していた。

翌日訪ねたテオティワカンには紀元前百年ごろに始まり人口20万人に及んだ古代最大の都市遺跡である。太陽のピラミットの頂上に立つと巨大な建造物とその周辺に集合住宅が広がり、整然とした都市計画と下水施設などに高度な建築技術をうかがわせる。ここでも見学の生徒たちが幅40以上の「死者の道」にあふれていた。

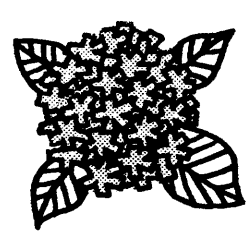
アステカ帝国の聖域テンプロ・マヨール遺跡では中央神殿があつた四層のピラミットに生け贄を捧げたチャック・モール像があつたが、帝国のあつけない崩壊は、生け贄を強制された他部族がスペイン軍に味方したこと一因だったという。

国立宮殿ではインディオ・ルネッサンスの先頭に立ったリベラの描いた壁画に圧倒され、なかでもスペイン軍に屈服したメキシコ人が同胞を虐殺する場面を大胆に描いていることに感銘を受けた。「自虐史観」と非難して侵略戦争を

美化し歴史に目をそむけようとする国との違いは大きい。

初日、ソロカ(中央広場)を埋めた農民の抗議集会は感動的だった。全国からトラックターに乗った家族連れなどが続々と集まった広場は13万人の熱気に溢れ、農産物の自由化反対を訴えていた。

力強いインディオの古代文明に触発されたメキシコ革命の理念は、歴史から学ぼうとする情熱や農民のエネルギになり、いまラテンアメリカを変革する原動力になつているのである。



親睦旅行予告

親睦旅行は十一月六日七日、大阪府堺市を予定しています。日程が変更になるかもしれません。詳細は七月のニュースに同封します。

「補聴器」考(続)

耳が聞こえない人と人の交流が途絶する。会合に出ても話は聞きとれない。交通事故との遭遇も心配される。「耳が遠い人は長生きをする」という言い伝えがあるが、科学的根拠はない。むしろ生きることがしんどくなってくるようにさえ思う。…等々いろいろ悩んだ末、徹底的に研究してみようと決意した。この駄文が同病の方の参考になれば幸いである。

手始めに一月十日に市役所の「元いきがい課」に出向いて、教えを乞うた。勿論、役所で医学的なことを聞くことは出来ないわけで、相談先を教えてもらった。結論は大

学付属病院など総合病院の医療相談室に聞けとのことであった。このついでに、補聴器にたいする保険等の補助について聞くと、方法があるが購入した後では手遅れのようなのである。詳しいことは後日調べることにした。

秦泉寺成茂月日記
坪井 幹之

続いて一月十八日と三十日に、生協病院の相談室で教えを乞うた。その大要は以下の通りである。「老人性難聴」とは加齢による聴力の低下のことを言う。

病状は高音部から聞こえなくなり、次に中音部が聞こえなくなる。耳鳴りの症状があらわれることもある。原因は加齢による聴力の低下で、有効な治療法はない。補聴器の装用が勧められる。

以下、貰った資料から参考になりそうなことを列記する。年をとると誰でも耳が遠くなっていく。病気のためだけでなく、加齢以外に原因が考えられない難聴を老人性難聴と言う。ヒトは二十五歳を過ぎる頃から肉体的に老化が始まるが、耳でも同様に老化現象が起こり、音を感じる内耳の細胞や感じ取った信号を耳から脳に伝えたり、脳で言葉を聞き分けたりする神経細胞が衰えた

り死滅して、その働きが悪くなる。残念であるが、この難聴には有効な治療法はなく、補聴器を使って音を補うしかないのが現状である。この難聴は言葉の聞き取りが悪くなるのが特徴で、コミュニケーションの障害を生じさせ、性格の変化をもたらし、補聴器は音を大きくするだけで、語音の明瞭度を改善させる働きはないことを理解する必要がある。といった次第。

補聴器への購入補助であるが身体障害者福祉法による手帳の交付を受けていなければならぬ。手続きは各市町村の福祉担当窓口、高知市であれば「元いきがい課」に相談することになる。



一月二十四日逝去されまし
た山本景子さんから逝去さ
れる前に頂いき絶筆となつ
た一文です。
謹んで冥福を
お祈りします。

断食続行中 山本景子

毎月の九日が始まるう
とする午前零時が近づく
と少し緊張する。九日は
断食の日だからである。
夜中に白湯を沸かして、
小豆入りのお粥を食べて
九日を迎える。
「9の日・9条・ハン
ト・イン」を高知で始め
ている文映社の馴田正満
さんの記事が、四月八日
高知新聞夕刊に載ってい
た。「いい運動」だった。
1人でも、家でも出来る
利点があった。
「バイオリンを弾く地球
物理学者・寺田寅彦」を
高知に連載していた文芸
評論家・末延芳晴さん
京都六十三歳の呼びか
けを受けて。高知でも断
食で九条を守ろうとする
意思を表現するものであ
った。二十四時間を水か
白湯だけで通すのである。
まずはやってみようとい
めた。
二十四時間を意識して過
ごしてみると結構長い
のである。三食抜くと買
物や調理、食事をして後
始末も省けて、一層一日
を長く感じた。空腹も白
湯で凌げることも分かっ
た。つい冷蔵庫に手を出
したりもしたが、大丈夫
であった。

断食を実行しているメン
バーも決して楽々と続け
ているわけではなく、仕
事をしながらの男性方は、
よく我慢が出来ていると
感動したのである。
改憲を進める人々は何を
目的にしているのか、知
れば知る程恐ろしい。
ずるずると日々を送って
いると、大切なものを見
失ってしまう自分の弱さ
に気付き、びっくりする
ような重荷を引き受ける
ことで、今を生きる証を
断食で実行するのはピタ
リだと思っている。1人
静に「何かを断ち切る」
強さに断食は相応しいと
も感じ始めている。弱さ
の固まりのような体の中
を、白湯を二十四時間流
して行くと、細胞一つ一
つが洗い清められ生き返
っていきような爽快な自
分を取り戻して行く。こ
れは断食に副産物として
生まれた得のようである。
飢えている人々への共有
とまで行けないが、せめ
て地球規模の平和思想、
非暴力、不服従のガンジ
ーの考えにも近寄れるか
もしれない。

六月から会員を広げてみ
ようと、友人、知人に案
内をしてみると、「三食を
抜くなんて我慢できない。
仕事に差し支える」この
二つの理由で断る人が多
かった。やってみよう
とさえ直ぐに実行に移す女
性たちは、「あなたにやれ
るなら私も」と簡単に決
意していつか続けて頑張
っている。私の仲間には女
性九人と男性二人である。
末延さんが来高して会員
十人が集まった折、「高知
は会員は二十人居ますし
多いのですよ、どう言う
理由でしょう。」と質問を
受けた。
断食を受け入れないのは、
毎日のリズムを壊せ
ない。食を抜くなど考え
られない。ましてや断食
で憲法九条を守るのか
疑問だと答えが三つに集
中していると話し合った。

食の文化で極端にグル
メ化を煽る日本で、その
中に溺れない為にも断食
はいいと私は思っている。
私はインターネットをし
ないので、断食で毎月九
日に九条を守っている証
をする方は、終了後にイ
ンターネット「ハンガ
ー・ストライキ」を開くとペ
ージがでるとのことです。
終了報告の書き込み、
<http://www.jh2dion.ne.jp/hansufo/>
です。

九月より三六五日を全国
リレーで結ぶ断食にも加
わり、第一土曜と九日が
続くため、苦しいときも
あるけれども、もつと沢
山の人々と共に共有する
喜びが生まれると、バン
ガーストライキの意義が
生き生きと暴力への抵抗
として頑張れそうである。
末延さんは毎週の木・土
曜日に三十六時間の断食
を実行している「優しき
はつわもの」のリーダー
である。

